新潟西部地域
「新之助」生育情報　No.4

令和６年７月１日
巻農業普及指導センター

中干しは7月10日頃までに終了し、飽水管理に移行しましょう!

【7月1日の生育データ(指標値比較)】

草丈「長い」、茎数「並」、葉数「並」、葉色「並」

区分	調査地点	移植日	草丈(cm)		茎数(本／㎡)		主幹葉数(L)		葉色(SPAD)	
			本年値	指標比 %	本年値	指標比 %	本年値	指標差L	本年値	指標差
分施	巻(普及)	5月14日	49	117	770	128	10.1	−0.1	38.7	1.7
全量基肥	巻	5月18日	49	117	588	98	10.2	0.0	37.7	0.7
	岩室	5月11日	47	112	606	101	9.7	−0.5	35.4	−1.6
	潟東	5月10日	44	105	351	59	10.7	0.5	36.8	−0.2
	中之口	5月12日	53	126	568	95	10.3	0.1	39.8	2.8
	黒埼	5月10日	46	110	620	103	10.1	−0.1	34.0	−3.0
	にいがた西	5月11日	58	138	512	85	8.7	−1.5	33.9	−3.1
全体平均		5月12日	49	118	574	96	10.0	−0.2	36.6	−0.4
指標値		5月15日	42		600		10.2		37.0	
近年値		5月13日	40		546		9.7		36.9	

※調査地点:JA新潟かがやき「越後中央」新之助研究会、JA新潟かがやき「みらい」新之助栽培研究会、普及センター気象感応ほ調査データ
※近年値はH29～R5までの平均値

【今後の気象状況】

○ 新潟地方気象台1か月(6/29～7/28)予報では、**気温は高く、平年通り曇りや雨が多い見込み**です。

【管理ポイント】

○ うわ根の発生促進や根の健全化を図るため、中干しは遅くとも**出穂期の1か月前(7月10日頃)までに終了**し、その後は**浅水の間断かん水**を行い、徐々に飽水管理に移行しましょう。

○ 曇りや雨の多い天候になると、いもち病感染の好適条件が増加します。ほ場をよく観察し、**葉いもちの発病を確認した場合は、液剤または粉剤で追加防除を行いましょう**。

○ **水面施用粒剤での穂いもちの防除は、出穂20日前頃に遅れずに実施**しましょう。

○ 「新之助」は紋枯病の被害を受けやすいので、発病状況に留意しましょう。特に前年多発したほ場は伝染源が多いので、適期に防除しましょう。

○ 出穂したイネ科雑草はカメムシ類の増殖地となるので、畦畔等の草刈りを徹底しましょう。また、水田内雑草(ノビエ、ホタルイ等)の繁茂・結実は、特にアカスジカスミカメの増殖しやすい環境となるので、早めに除去しましょう。

「水稲栽培技術対策資料No.4、No.5」で参考情報を提供中！

(次回調査は７月10日)